

校長より職員へ向けた内容となっています。学校運営のほんの一端をご覧ください。

職員会議資料(上田市立長小学校) 校長室から⑤ 抜粋

令和6年8月28日
西澤直記

一 子どもの姿から（1学期中の授業より 自己発揮を促す支援のあり方）



☆1年キラリ「うんとこしょどっこいしょ!」「がっくり」大きなかぶを抜く場面を音読だけでなく、実際にやってみることによって、言語（活字）がイメージ化されていく。この体験は時間はかかるが、子どもたちにとってイメージがわき、活字を読むときにさらに思いが込められていく。＜活字⇒イメージ化する支援＞自己発揮を促す支援。言葉へのイメージ化が進むと音読へのさらなる自己発揮につながり、それが確かな音読表現へと成長し自己肯定感の



積み重ねにつながる。支援員も子ども達と同じ目線になって参加してくださっています。

☆音楽集会キラリ

「ねえ!」と呼びかけるように歌う場面について、子どもたち自身が歌いたいタイミングを決めることによって、人と違っても立って歌うという展開を仕組んだ。このドキドキ感や歌い上げたいという自分の思いが、その時の緊張という壁を乗り越え、人と違っても歌えたという安堵感につながり自身の自己肯定感にもつながった。さらにスキルアップへと繋がっていく。教師主導で最初の3分間声出しをして、個々のスキルアップを促しておいてからの自己発揮は、長小学校の子どもたちに対して有効な手立てとなっているように感じる。学力や実技力向上に向けて、「できそうだ!」「やるぞ!」という前段階での教師主導の3分間に重要なヒントが隠されているのではないかと感じた。学力向上のための教師主導3分⇒自己発揮へ⇒好循環



二 連絡

(1) 非違行為根絶を 「長小から非違行為を絶対に出さない」自分事として考える

★このまま継続し、今年も、長小の職員は明るく支え合いながらチームとして動けるベストメンバーであり続けたい。

(2) 子どもたちを取り巻く水難事故・不審者事案が続出 交通安全面で配慮

児童・職員の安全面での配慮や職員の夏休み中の各種研修会（菅平夏季大学 定住自立圏研修 情報教育夏季研修会 保育園研修 初任者研修 同好会研修）への参加ありがとうございました。

★本校での「ヒヤリハット」事案（体育館高熱電源 誤報2回 コンセント不良 プール浄水器 排水テント設営中のケガ 助手席の水筒 駐車場でのもらい事故）を受けての夏の研修ありがとうございました。お陰様で、未然に修理改善が進み複数の目で確認していくことの良さが見られました。今後もハツとするような事案・場所・物を発見したら引き続き共有をお願いします。ホウレンソウの大切さ。

(3) 上田市内ですぐにできる講師の先生をさがしています。情報があつたらすぐに校長までお知らせください。

(4) 第2回校長面談が始まります。(全職員)

・今後教頭より出される日程で進めてまいりますので、今後のご自身の方向を考えておいていただき、面談日程の不都合がありましたらお知らせください。持ち物はありますが研修記録などは各自で記録しておくようにしましょう。

(5) 学びの改革支援課より R7年度以降の教育課程研究協議会について